

2. 博士前期課程・修士課程修了

大学院の修了とは、標準修業年限以上在学し、所定の 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文審査及び最終試験に合格し、学位が授与されることをいいます。

本学東京キャンパスの大学院博士前期課程（修士課程）を修了するには標準 2 年以上在学し、部局細則に規定する履修方法に従い 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文等審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については 1 年以上在学すれば足りるものとなっています。

(1) 学位

授与される学位は、次のとおりです。

研究科	専攻	コース	学位
ビジネス科学 (博士前期課程)	経営システム科学		修士(経営学)又は 修士(経営システム科学)
	企業法学		修士(法学)
人間総合科学 (博士前期課程)	生涯発達	カウンセリング	修士(カウンセリング)
		リハビリテーション	修士(リハビリテーション)
人間総合科学 (修士課程)	スポーツ健康システム・マネジメント	スポーツプロモーション	修士(体育学)又は 修士(保健学)
		ヘルスプロモーション	

(2) 学位論文等審査の手続き

① 経営システム科学専攻

学位論文正 1 部、副 2 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文等概要（800 字程度）、論文目録及び履歴書各 2 通

② 企業法学専攻

学位論文正 1 部、副 2 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文概要（800 字程度）、論文目録及び履歴書各 2 通

③ 生涯発達専攻

学位論文正 1 部、副 2 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文概要（800 字程度）、論文目録、履歴書各 2 通及び論文公正に関する確認書

④ スポーツ健康システム・マネジメント専攻

学位論文又は特定課題研究報告書正 1 部、副 3 部、学位論文審査願（指導教員の印が必要）に、論文概要（800 字程度）、論文目録、履歴書各 2 通及び論文公正に関する確認書

なお、学位論文等は 1 編に限りますが、参考として他の論文を添付することは差し支えありません。

また、提出した学位論文等は返付しません。

学位論文等上記の書類を当該専攻の指定する日に支援室教務担当に提出してください。

(3) 学位論文等作成・提出の要件

研究科	専攻	コース	論文等作成・提出の要件
ビジネス科学 (博士前期課程)	経営システム科学		① 研究計画書を専攻長に提出していること。 ② 予備審査に合格していること。 ③ 修了要件である 30 単位を修得もしくは修得見込であること。
	企業法学		① 研究計画書を専攻長に提出していること。 ② 正式題目届を提出していること。 ③ 修了要件である 30 単位を修得もしくは修得見込であること。

研究科	専攻	コース	論文等作成・提出の要件
人間総合科学 (博士前期課程)	生涯発達	カウンセリング	① 研究テーマを専攻長に提出していること。 ② 各コースの履修方法に沿って必要な単位を修得しており、かつ指導教員により論文提出を認定された者。
		リハビリテーション	
人間総合科学 (修士課程)	スポーツ健康システム・マネジメント	スポーツプロモーション	① 学位論文テーマ届を専攻長に提出していること。 ② 修了要件である単位を修得もしくは修得見込みであること。
		ヘルスプロモーション	

(4) 課程修了日程について

本学東京キャンパスの博士前期課程（修士課程）の標準的な課程修了日程は次の「参考」のとおりですが、これ以外にも、2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文等の審査及び最終試験に合格した者については、各研究科・専攻の定めるところにより、各学期末に課程修了ができることになっています。

ただし、在学期間は4年を超えることができません。

[参考]

平成27年度大学院博士前期課程・修士課程修了関係日程

ビジネス科学研究科経営システム科学専攻・企業法学専攻（博士前期課程）

事項	専攻及び学位	経営システム科学専攻	企業法学専攻
		修士（経営学）又は 修士（経営システム科学）	修士（法学）
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正1部、副2部） ・論文等概要（2通） ・論文目録（2通） ・履歴書（2通）		1月29日（金） （13時～20時） 1月30日（土） （13時～19時）	2月2日（火） （13時～19時）
各専攻教育会議* 主査、副査（案）の作成		1月15日（金）	1月20日（水）
ビジネス科学研究科運営委員会* 論文等受理日、受理数、論文審査委員会の設置		1月22日（金）	
学位論文審査委員会 合否の判定、審査結果の作成		2月6日（土）	2月13日（土）・14日（日）
各専攻教育会議 修得単位、学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月12日（金）	2月17日（水）
ビジネス科学研究科運営委員会 課程修了の審議 研究科長→学長（学位授与の決裁）		2月19日（金）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

* 論文の提出が見込まれるものについて会議に諮る。

人間総合科学研究科生涯発達専攻（博士前期課程）

事 項	コース及び学位	カウンセリングコース	リハビリテーションコース
		修士（カウンセリング）	修士（リハビリテーション）
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正1部、副2部） ・論文概要（2通） ・論文目録（2通） ・履歴書（2通） ・論文公正に関する確認書（1通）		1月26日（火） （13時～20時）	
各学位論文審査委員会* 論文受理、主査、副査指名		1月15日（金）	
人間総合科学研究科運営委員会 論文提出者数等報告		1月26日（火）	
各学位論文審査委員会 専門委員会の論文審査結果・合否判定案に基づき合否の判定		2月6日（土）	
専攻教育会議 修得単位、各学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月12日（金）	
人間総合科学研究科運営委員会 課程修了の審議 研究科長→学長(学位授与の決裁)		2月16日（火）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

* 論文の提出が見込まれるものについて会議に諮る。

人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）

事 項	コース及び学位	スポーツプロモーションコース	ヘルスプロモーションコース
		修士（体育学）又は 修士（保健学）	
学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正1部、副2部） ・論文概要（2通） ・論文目録（2通） ・履歴書（2通） ・論文公正に関する確認書（1通）		1月8日（金） （13時～19時）	
各学位論文審査委員会* 論文受理、主査、副査指名		1月8日（金）	
人間総合科学研究科運営委員会 論文提出者数等報告		1月26日（火）	
各学位論文審査委員会 専門委員会の論文審査結果・合否判定案に基づき合否の判定		1月30日（土）	
専攻教育会議 修得単位、各学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月13日（土）	
人間総合科学研究科運営委員会 課程修了の審議 研究科長→学長(学位授与の決裁)		2月16日（火）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

* 論文の提出が見込まれるものについて会議に諮る。

3. 博士後期課程修了

本学東京キャンパスの大学院博士後期課程を修了するための要件

- ・ビジネス科学研究科企業科学専攻：標準3年以上((4)*1)在学し、各コースの定める履修方法に従い20単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文審査及び最終試験に合格することが必要です。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年以上((4)*2)在学すれば足りるものとなっています。
- ・人間総合科学研究科生涯発達科学専攻：原則として3年以上在学し、当該専攻の定める履修方法に従い10単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文審査及び最終試験に合格することが必要です。
- ・人間総合科学研究科スポーツウエルネス学位プログラム：原則として3年以上在学し、当該学位プログラムの定める履修方法に従い8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文審査及び最終試験に合格することが必要です。

(1) 学位

授与される学位は、次のとおりです。

研究科	専攻	コース	学位
ビジネス科学 (博士後期課程)	企業科学	システムズ・マネジメント	博士(経営学)又は 博士(システムズ・マネジメント)
		企業法	博士(法学)
人間総合科学 (博士後期課程)	生涯発達科学		博士(生涯発達科学)、 博士(カウンセリング科学)又は 博士(リハビリテーション科学)
人間総合科学 (3年制博士課程)	スポーツウエルネス 学位プログラム		博士(スポーツウエルネス学)

(2) 学位論文審査の手続き

① 企業科学専攻

手続きは学位論文全文(PDFデータ。冊子での提出については別途指示)と、学位論文審査願(指導教員の印が必要)に論文概要(2,000字~4,000字程度)、論文目録、履歴書及びインターネット公表に関する申出書のほか、当該専攻・コースが定める書類を必要部数添え、当該専攻・コースが指定する日に支援室教務担当に提出してください。なお、提出された学位論文等は返付しません。

② 生涯発達科学専攻

学位論文[本論文及び参考論文](仮製本)と、学位論文審査願(指導教員及び専攻長の印が必要)に論文概要(4,000字以内)、論文目録、履歴書及びインターネット公表に関する申出書を添え、当該専攻が指定する日に支援室教務担当に提出してください。(提出部数は教務担当で確認してください。)

③ スポーツウエルネス学位プログラム

学位論文[本論文及び参考論文](仮製本)と、学位論文審査願(指導教員及び運営委員会委員長の印が必要)に論文概要(4,000字以内)、論文目録、履歴書、インターネット公表に関する申出書及び論文公正に関する確認書を添え、当該学位プログラムが指定する日に支援室教務担当に提出してください。(提出部数は別途掲示等で確認してください。)

(3) 学位論文作成・提出の要件

研究科	専攻	コース	論文作成・提出の要件
ビジネス科学 (博士後期課程)	企業科学	システムズ・マネジメント	① 「論文ドラフト」を提出し予備審査に合格していること。 ② 必修・選択必修科目を含む修了要件としての20単位を修得あるいは修得見込であること。

		企業法	① 予備審査に合格していること。 ② 必修科目を含む修了要件としての20単位を修得あるいは修得見込であること。
人間総合科学 (博士後期課程)	生涯発達科学		① 予備審査に合格していること。 ② 必修科目を含む修了要件としての10単位を修得あるいは修得見込であること。
人間総合科学 (3年制博士課程)	スポーツウェルネス 学位プログラム		① 予備審査に合格していること。 ② 必修科目を含む修了要件としての8単位を修得あるいは修得見込であること。

(4) 課程修了日程について

本学東京キャンパスの博士後期課程の標準的な課程修了日程は次の「参考」のとおりですが、これ以外にも、3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文の審査及び最終試験に合格した者については、所属研究科が予め定める日程に応じて毎月末に課程修了ができることになっています。ただし、在学期間は5年を超えることができません。

- *1 法科大学院の課程を修了した者にあつては2年以上（大学院学則第43条）
- *2 大学院設置基準第3条第3項又は第16条第1項ただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者及び専門職大学院設置基準第2条第2項又は第3条第1項の規定による標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては当該課程における在学期間を含めて3年以上

[参考]

平成27年度大学院博士課程修了関係日程

ビジネス科学研究科企業科学専攻（博士後期課程）

事 項	コース及び学位	システム・マネジメントコース 博士（経営学）又は 博士（システム・マネジメント）	企業法コース 博士（法学）
	学位論文審査の願出 学生（申請者）→ 支援室 ・学位論文審査願（指導教員の承認印を必要とする） ・学位論文（正3部、副5部）* ・論文概要（正2通、副4通）* ・論文目録（正2通、副4通）* ・履歴書（正2通、副4通）*		1月13日（水） 18時まで
コース会議 主査、副査（案）の作成		1月15日（金）	1月20日（水）
ビジネス科学研究科運営委員会 論文受理日、受理数、論文審査委員会の設置		1月22日（金）	
学位論文審査委員会 可否の判定、審査結果の作成		1月23日（土） ～ 2月11日（木）	1月23日（土） ～ 2月16日（火）
コース会議 修得単位、学位論文審査委員会の結果に基づき審議		2月12日（金）	2月17日（水）
ビジネス科学研究科運営委員会 課程修了の審議 研究科長→学長 (学位授与の決裁)		2月19日（金）	
学位記授与式（東京キャンパス）		3月26日（土）	

* 副の部数は、審査委員の数によって変わる場合があります。

人間総合科学研究科生涯発達科学専攻 (博士後期課程)

事 項 \ 学 位	博士 (生涯発達科学)、博士 (カウンセリング科学) 又は 博士 (リハビリテーション科学)
学位論文審査の願出 学生 (申請者) → 支援室 ・学位論文審査願 (指導教員の承認印を必要とする) ・学位論文 (正4部) * ・論文概要 (正2通、副3通) * ・論文目録 (正2通、副3通) * ・履歴書 (正2通、副3通) * ・インターネット公表に関する申出書 (1通)	12月5日 (土) 20時まで
専攻教育会議 主査、副査 (案) の作成	12月11日 (金)
人間総合科学研究科運営委員会 論文受理日、受理数、論文審査委員会の設置	12月22日 (火)
学位論文審査委員会 可否の判定、審査結果の作成	12月23日 (水) ~ 1月30日 (土)
専攻教育会議 修得単位、学位論文審査委員会の結果に基づき審議	2月12日 (金)
人間総合科学研究科運営委員会 課程修了の審議 研究科長→学長 (学位授与の決裁)	2月16日 (火)
学位記授与式 (東京キャンパス)	3月26日 (土)

* 副の部数は、審査委員の数によって変わる場合があります。

4. 専 門 職 学 位 課 程 修 了

本学大学院の専門職学位課程 (法科大学院) を修了するには、3年以上 (既修者は2年以上) 在学し、法曹専攻の定める履修方法に従い、平成24年度以前入学者は95単位以上、平成25年度入学者は96単位以上、平成26年度以降入学者は93単位以上を修得することが必要です。

授与される学位は、法務博士 (専門職) です。

本学大学院の専門職学位課程 (国際経営プロフェッショナル専攻) を修了するには、2年以上在学し、国際経営プロフェッショナル専攻の定める履修方法に従い45単位以上を修得することが必要です。

授与される学位は、国際経営修士 (専門職) です。